

課題選考基準

課題選考にあたっては、情報生物学の推進に寄与すること、創造的で新しいアルゴリズムや仮説提案につながる可能性を有していること、特定分野の研究開発であることを必須とし、研究開発計画及び体制が整備されていることを条件とします。

1 . 課題

- a 情報生物学の創造的な研究開発を志し、情報生物学の推進に寄与すること
- b 創造的で新しいアルゴリズムや仮説提案につながる可能性を有していること
- c 研究成果は公開されること
- d 研究開発に適時性があること
- e 得られる成果の波及効果が高いと予想されること

2 . 代表研究者

- a 自らが創造的な研究構想の発案者であること
- b 活力、統率力を有すること

3 . 研究開発計画及び体制

- a 研究開発の目標設定が具体的であり、3年間で所要の成果を達成できること、あるいは、達成する見通しが得られること。
- b 実施体制が整備されていること。
- c 適切な研究実施体制、実施規模であること。
- d 所属機関等とJSTが委託研究契約を締結して研究開発を実施することが可能であること。

4 . その他の条件

応募の時点で、代表研究者は国（科学研究補助金、科学技術振興調整費等）や独立行政法人等（科学技術振興機構（JST）、日本学術振興会（JSPS）、新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）、情報処理推進機構（IPA）、農業・生物系特定産業技術研究推進機構（NARO）、医薬品医療機器総合機構（PMDA）、情報通信研究機構（NICT）、鉄道建設・運輸施設整備支援機構（JRTT）等）が推進する大型の研究開発事業の課題（平成17年度終了予定のものを除く）の代表者と重複しないこと。